

令和3年8月31日(火)

有限会社兵吉屋より アワビの種苗放流事業に寄付をいただきました

海女小屋はちまんかまどを運営する有限会社兵吉屋から、市のアワビ種苗放流事業に10万円を寄付していただきました。



鳥羽市では昭和49年から持続的な水産資源の利用を行うため、鳥羽磯部漁業協同組合と協力しながらアワビやヒラメなどの種苗放流を行い水産資源の保護・育成に努めており、有限会社兵吉屋からは平成28年より毎年寄付していただき、今年で6年目となります。

同社の野村一弘社長は「厳しい状況が続いていますが、海女の職を守るため今年も寄付をしたい」と思いを話していただきました。中村市長は「鳥羽市のキラーコンテンツである海女漁における資源管理のために活用させていただきます」と感謝を述べました。